

ひょうごらくのうメモ

7

2023JUL



表紙:兵庫県酪農協 第8回通常総会より

フルカラー版は組合ホームページから
ご覧いただけます。



発行：兵庫県酪農農業協同組合

神戸市西区伊川谷町潤和1058
西神文化センター3階

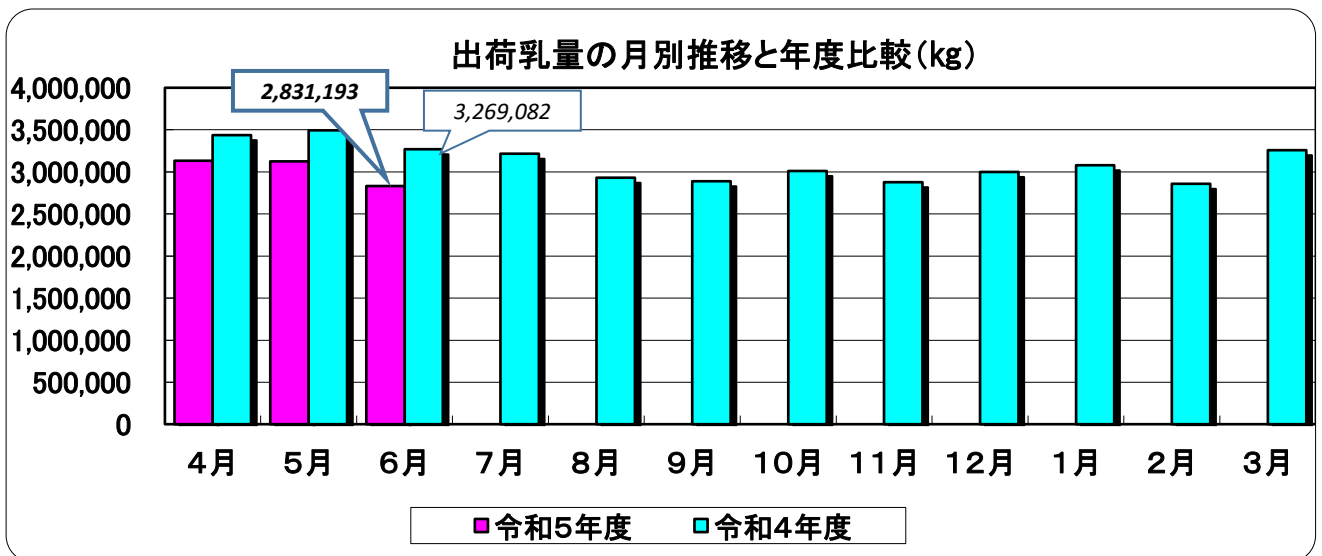
生乳生産統計

1. 全国(令和5年5月・農林水産省牛乳乳製品の生産動向より)

	生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
令和 5年 4月	628.0	95.6
令和 5年 5月	648.9	95.6
令和 5年 6月		
令和 5年 7月		
令和 5年 8月		
令和 5年 9月		
令和 5年10月		
令和 5年11月		
令和 5年12月		
令和 6年 1月		
令和 6年 2月		
令和 6年 3月		
令和 5年度累計	1,276.9	95.6

2. 兵庫県酪農協取扱い分(公共施設除く)

地 区	令和 5年6月		年度累計		出荷農家 戸 数
	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	生乳生産量 (k g)	対前年比 (%)	
阪神地区	515,527	85.7	1,655,332	87.9	20
播州地区	354,986	64.7	1,170,994	69.2	15
丹但地区	280,590	85.0	907,381	89.7	14
淡路地区	1,680,090	93.9	5,353,859	95.4	82
合 計	2,831,193	86.6	9,087,566	89.1	131



第8回通常総会報告

令和5年6月29日(木)、西神文化センター4階大ホールにおいて、第8回通常総会を本人及び委任状出席23名、議決権行使書63名により開催。コロナ感染症が5類に位置づけられた事で通常開催に戻り、来賓においても多数のご臨席、ご祝辞をいただきました。組合長の成立宣言の後、神戸市永田幹彦議長の進行のもと、提出議案7議案を審議、何れも賛成多数により原案通り可決決定しました。提出議案及び決議については次のとおり。

- 第1号議案 令和4年度事業報告及び剰余金処分案の承認について
(場内賛成多数、議決権行使書賛成63票)
- 第2号議案 令和5年度事業計画の設定について
(場内賛成多数、議決権行使書賛成63票)
- 第3号議案 令和5年度経費の賦課及び手数料とその徴収方法について
(場内賛成多数、議決権行使書賛成63票)
- 第4号議案 令和5年度役員報酬の決定について
(場内賛成多数、議決権行使書賛成63票)
- 第5号議案 役員を選任について
(投票による場内賛成22票、議決権行使書賛成63票)
- 第6号議案 退任理事及び監事に対する退任給与金の支給並びに役員退任給与引当金の取崩について
(場内賛成多数、議決権行使書賛成63票)
- 第7号議案 附帯決議について
(場内賛成多数、議決権行使書賛成63票)

◆ 主な行事予定 ◆

7月	8月
19日 第38回中国地区B&Wシヨウ決算報告会 (おかやま酪農協)	30日 さいとう元彦・県政報告会(ポートピアホテル)
20日 近畿生乳販連理事会・通常総会(WEB)	28日 第3回理事会(WEB) (播磨農高他)
令和5年度兵庫県但馬牛受精卵移植推進協議会 理事会	27日 令和5年度近畿地区登録委員研修会
24日 内部管理職会議	25日 岩崎税理士事務所・税務監査
	令和5年度神戸市家畜衛生防疫対策連絡会(三宮)
	1日 職員会議(WEB)
	淡路自衛防疫推進協議会総会(松葉寿司)
	令和5年度ひょうご食品認証制度に係る 第1回畜産物審査会(中央労働センター)
	2日 令和5年度兵庫県政策提案会(土地改良会館)
	8日 酪農共済推進巡回

参考情報

淡路家畜市場情報

令和5年6月第2金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	8	140,250	178,200	19,800			57		
		前回	12	136,125	177,100	49,500			56	4,125	3.0%
		前年	9	160,356	199,100	115,500			57	-20,106	-12.5%
	オス	今回	4	165,000	216,700	55,000			57		
		前回	12	159,225	240,900	27,500			60	5,775	3.6%
		前年	10	206,800	313,500	49,500			60	-41,800	-20.2%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	1	15,400	15,400	15,400			59		
		前回	4	37,400	60,500	13,200			56	-22,000	-58.8%
		前年	3	67,100	73,700	59,400			57	-51,700	-77.0%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

* 前回は令和5年5月第4金曜日・前年は令和4年6月第2金曜日

令和5年6月第4金曜日

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
F1 スモール	メス	今回	9	176,367	212,300	111,100			53		
		前回	8	140,250	178,200	19,800			57	36,117	25.8%
		前年	12	173,617	250,800	117,700			59	2,750	1.6%
	オス	今回	11	212,000	264,000	158,400			53		
		前回	4	165,000	216,700	55,000			57	47,000	28.5%
		前年	15	169,547	221,100	23,100			55	42,453	25.0%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
ホルス スモール	メス	今回									
		前回									
		前年									
	オス	今回	1	67,100	67,100	67,100			52		
		前回	1	15,400	15,400	15,400			59	51,700	335.7%
		前年	3	85,800	111,100	53,900			58	-18,700	-21.8%
	去勢	今回									
		前回									
		前年									

* 前回は令和5年6月第2金曜日・前年は令和4年6月第4金曜日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	99,316	920	92,268	1,310	88,244	279	108,936	95,423	
3年次	83,134	947	92,646	1,184	74,198	254	108,163	98,856	
4年次	61,056	878	68,011	1,060	60,809	224	70,776	85,621	
4	1	60,274	73	86,602	118	96,842	26	84,852	7,917
	2	78,917	74	84,541	76	82,622	27	99,587	7,368
	3	89,551	78	93,886	134	84,111	28	104,430	8,775
	4	96,634	73	98,901	78	93,317	18	101,788	7,440
	5	112,322	54	111,763	78	99,245	18	123,317	6,324
	6	122,177	71	111,003	68	119,460	10	117,640	7,227
	7	95,057	53	104,775	56	85,663	8	74,406	7,599
	8	45,824	76	66,689	75	30,158	12	31,436	7,762
	9	25,075	83	22,432	102	17,417	12	15,575	6,428
	10	16,210	91	21,039	87	9,477	26	20,611	6,131
	11	18,362	78	20,287	97	8,250	22	26,558	6,750
	12	14,582	74	21,227	91	10,159	17	22,961	5,900
5	1	15,738	78	27,690	58	19,500	22	23,711	5,826
	2	15,420	56	22,022	99	12,624	21	36,078	5,457
	3	32,237	49	30,240	53	10,633	12	51,012	6,592
	4	34,608	39	43,205	90	47,594	15	58,915	5,810
	5	65,572	36	67,518	79	50,008	13	69,390	6,043
	6	67,793	27	74,466	79	59,620	5	76,121	6,049
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
2年次	228,479	6,027	217,319	4,382	264,159	2,114	190,693	172,233	
3年次	210,211	6,047	193,481	4,181	230,848	1,993	181,918	178,394	
4年次	157,307	6,259	149,060	3,820	190,213	1,918	135,855	174,435	
4	1	156,690	554	134,664	365	200,007	194	150,928	14,421
	2	154,568	511	135,321	311	173,563	172	163,424	13,270
	3	173,935	563	159,393	369	183,812	206	175,588	15,423
	4	181,317	559	179,829	287	212,539	189	178,697	13,776
	5	209,912	449	203,328	263	235,953	151	190,858	12,825
	6	238,145	353	221,190	368	220,208	143	187,300	12,975
	7	204,151	331	188,185	287	226,511	112	157,593	13,177
	8	156,707	560	151,410	271	196,618	121	100,500	15,237
	9	124,209	554	110,885	393	148,069	153	88,395	15,808
	10	129,255	531	106,490	278	161,723	143	91,131	15,097
	11	114,617	706	98,855	296	169,113	153	93,840	16,644
	12	114,802	588	106,584	332	166,884	181	86,297	15,782
5	1	115,818	567	103,190	309	147,300	186	79,231	15,219
	2	115,327	470	103,410	331	144,020	179	93,942	14,311
	3	123,802	587	117,235	331	158,154	197	102,795	15,544
	4	157,892	531	138,296	315	195,491	203	111,958	14,394
	5	188,398	436	177,927	221	219,636	127	123,340	14,179
	6	204,456	298	202,847	271	250,721	111	139,965	13,253
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意ください。

令和5年6月乳牛市場成績

頭：千円：税込

市場名	開催日	育成牛(牝・牝系・他)				初妊牛(牝・牝系・他)				経産牛(牝・牝系・他)			
		成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値	成立頭数	最高値	最低値	平均値
豊 富	6/2	135	329	14	190								
豊 富	6/8					234	716	103	392	5	362	278	322
北 見	6/9	302	436	51	232								
十 勝	6/12					640	914	230	456	82	768	136	363
十 勝	6/15	442	372	11	199								
南北海道	6/16	67	259	8	178	94	723	253	430	9	338	198	255
釧 路	6/21					217	714	274	419				
根 室	6/22					403	886	301	467	3	432	217	355
北 見	6/23					291	738	112	420	5	308	187	233
釧 路	6/26	176	355	77	218								
合 計	10回	1,122	436	8	209	1,879	914	103	439	104	768	136	345
前年同月成績	8回	707	400	11	227	1,960	1,223	191	543	128	619	118	304
前月合計成績	8回	653	377	4	232	2,328	1,183	66	463	183	847	66	363

ホクレン乳牛市場開催日程

7月7日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)	8月4日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)
7月10日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)	8月7日(月)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)
7月11日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)	8月10日(木)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)育成
7月12日(水)	ホクレン十勝地区家畜市場	(音更)育成	8月18日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	(安平)
7月14日(金)	ホクレン南北海道家畜市場	(安平)	8月22日(火)	ホクレン釧路地区家畜市場	(大楽毛)
7月19日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)	8月23日(水)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)
7月20日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)	8月24日(木)	ホクレン根室地区家畜市場	(中標津)
7月28日(金)	ホクレン豊富地域家畜市場	(豊富)育成	8月28日(月)	ホクレン北見地区総合家畜市場	(佐呂間)育成

ホクレン家畜市場所在地及び担当支所(問合せ先)

市場名	市場所在地	電話番号	担当支所・課	電話番号
南北海道家畜市場	勇払郡安平町早来新栄4番地	0145-22-4109	苫小牧支所 酪農課	0144-36-1431
豊富地域家畜市場	天塩郡豊富町上サロベツ569番地の1	0162-82-3150	稚内支所 酪農課	0162-34-2131
十勝地区家畜市場	河東郡音更町字音更西2線9-1	0155-42-2231	帯広支所 酪農課	0155-66-8220
北見地区総合家畜市場	常呂郡佐呂間町西富127番地2	01587-2-2689	北見支所 酪農課	0157-23-9003
釧路地区家畜市場	釧路市大楽毛86番地1	0154-57-8457	釧路支所 酪農課	0154-23-6163
根室地区家畜市場	標津郡中標津町南中10番2	0153-72-1366	中標津支所 酪農課	0153-72-9967
ホクレン本所 酪農部 家畜販売課	札幌市中央区北4条西1丁目3番地	011-232-6188		

☆家畜車の手配につきましても、各市場担当課にて承っておりますのでご相談下さい。

北海道乳牛生産地情報

(令和5年7月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	2.0~3.0	横遣い	札幌管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で98.6%、苫小牧管内月計で93.3%、累計で93.4%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月下旬~10月中旬分産が中心となります。秋分産牛も増え需要も一定はあると考えますが価格は横遣いに推移するものと見込まれます。雌雄選別腹におきましては、資源が少なく引き合いが強くなっている状況です。経産牛に関しては、即戦力の需要は高まると考えますのでやや強含みになると予想されます。出品頭数は少ないですが、初妊牛・育成牛ともに良質な牛が揃う地域ですので、相場が落ち着いているこの時期での導入をお勧めいたします。
	初妊牛	4.3~5.3	横遣い	
	経産牛	3.2~4.2	やや強含みやや弱含み	
釧路管内	育成牛(10-12月令)	2.0~2.5	横遣い	根釧管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で96.0%、累計で95.0%、管内月計で97.2%、累計で95.8%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月下旬~10月中旬分産中心となります。初妊牛に関しては、相場の道内外の購買意欲の減少から引き続き軟調に推移すると見込まれ、夏分産から秋分産へ移行する中で、しばらくは導入しやすい環境が続くと思われま
	初妊牛	4.0~5.0	やや弱含み	
	経産牛	3.2~4.2	弱含み	
帯広管内	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	横遣い	帯広管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で95.3%、累計で95.1%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月下旬~10月中旬分産が中心となっております。初妊牛に関しては、秋分産中心のアウトとなりませんが、情勢もあつたため、横遣いに推移するものと見込まれます。腹別では、資源減少を見込んで雌雄選別腹の需要が高くなっております。経産牛に関しては、高泌乳牛などの即戦力となる経産牛については高値で取引されるものの、全体的には横遣いに推移しており、今後も横遣いで推移すると見込まれます。育成牛に関しては、資源減少を見越して、需要が高まっているため、初妊牛価格が弱含みで推移する中でも堅調に取引されると見込まれます。
	初妊牛	4.5~5.5	横遣い	
	経産牛	4.0~5.0	横遣い	
道北管内	育成牛(10-12月令)	1.8~2.8	やや弱含み	道北管内の6月中旬までの生乳生産量前年比は、稚管内月計で96.9%、累計で96.0%、北見管内月計で96.1%、累計で94.2%の実績となっております。7月の初妊牛動向といたしまして、9月下旬~10月中旬分産中心となります。初妊牛に関しては、資源頭数が前年並みにありますが、秋分産へと移行していくタイミングですので相場としては横遣いに推移すると予想されます。腹別については、雌雄選別腹の資源が少なく状況でありまして、引き合いは強くなると予想されます。経産牛に関しては、初妊牛と同様の動きを見せると予想されます。育成牛については、将来的な資源確保による需要が落ち着きを見せ、やや弱含みに推移すると予想されます。
	初妊牛	4.3~5.3	横遣い	
	経産牛	2.8~3.8	横遣い	
道内総括	育成牛(10-12月令)	2.5~3.5	横遣い	道内の6月中旬までの生乳生産量前年比は96.3%、累計で95.4%の実績となっております。各地域、1番草の収穫が順調に進んでいる状況です。7月の初妊牛動向といたしまして、夏分産から秋分産へ移行し例年であれば需要が高まってくる時期になりますが、今年については、大きな相場変動は考えにくく、横遣いに推移するものと見込まれます。資源については、引き続き雌雄選別腹については、不足感があります。軟調な相場が続いているため、酪農家の中には販売へ向けず保留する傾向が見られるため、全体の資源としては、減少することもあると考えられます。弊会としては引き続き、道内資源状況を注視しながらご希望に合った搾乳用素牛を供給していきたいと思っておりますので注文宜しくお願致します。
	初妊牛	4.5~5.5	横遣い	
	経産牛	3.5~4.5	横遣い	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の底先選苗購買による予想相場です。

底先選苗購買のため、市場購買とは異なります。

毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。乳牛の購入計画がありましたら、最寄りの支所へご一顧下さい。担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただけよう購買のお手伝いを致します。また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

札幌支所
電話 011-241-0765

各事務所電話番号
釧路事務所 ☎(0154)52-1232
根室駐在員事務所 ☎(0153)76-1877
帯広事務所 ☎(0155)37-6051
道北事務所 ☎(0165)42-2368

令和5年7月11日

輸入粗飼料の情勢

全酪連大阪支所
酪農生産研究会

北米コンテナ船情勢

米国西海岸における北米西岸港湾労組(ILWU)と雇用主団体(PMA)の労使交渉は賃金と年金給付に関する交渉が難航していましたが、現地6月14日に暫定合意に至りました。現在は各港通常稼働となっていますが、6月上旬に発生した抗議活動の影響によりスケジュール遅延や、滞船数の増加が発生しました。労使交渉の本契約は秋頃と予想されており抗議活動は回避される見通しですが、今後も経過には注視が必要です。

カナダ西海岸では春先からカナダ西岸港湾労組(ILWU CANADA)と雇用主団体(BCMEA)の労使交渉が始まっていましたが、両者合意には至らず7月1日よりストライキに発展しています。現時点、ストライキの詳細は明らかになっていませんが、スケジュール遅延や荷役遅延といった影響が懸念されます。

ビートパルプ

【米国】

23-24年産のビートパルプの播種作業は終了しており、作付けされた面積は昨年並となっています。6月は乾燥した気候で降雨がほとんどなく7月以降の降雨が望まれています。市場については、米国西海岸で新穀乾牧草の生産も順調に行われていることから、輸出向け、米国向けの需要も少なく産地相場を慎重に見極めている状況です。

アルファルファ

ワシントン州

主産地であるコロンビアベースンでは、23年産1番刈の収穫が終了し、南部の早い圃場では2番刈の収穫が開始されています。23年産の1番刈の収穫は春先の冷涼な気候により例年に比べ、2~3週間遅れて開始されましたが、収穫作業は気温の上昇も伴い順調に進み、6月末時点で例年よりも早い進捗状況となりました。このまま2番刈以降も順調に収穫が進めば輸出向け用として4番刈の生産まで行われる見込みです。1番刈の品質は、カナダからの山火事による煙がコロンビアベースンに流入し

たことで、乾燥に時間が掛かり、一部の地域では降雨被害もあったことから産地全体で上級品の発生は少なくなっています。

新穀の取引については輸出業者や生産農家も産地相場を慎重に見極める動きが続いており、未だに相場は形成されていない状況です。

中東や中国といった輸出向けも低調な買付進捗になっていますが、繰り越し在庫が減少するにつれ買付を始めることも予想されるため、2番刈以降の相場の動きには注意が必要です。



左：ワシントン産1番刈アルファルファ

右：コロンビアベースン2番刈りアルファルファの圃場写真（6月下旬撮影）

オレゴン州

主産地であるオレゴン州クラマスフォールズでは、春先の不安定な気候により例年よりも収穫作業が遅れ、6月中旬以降に23年産1番刈の収穫が始まりました。現在、収穫作業は終盤を迎えており、収穫されたアルファルファの一部では見た目が綺麗な良品も発生しています。

カリフォルニア州

カリフォルニア州南部インペリアルバレーでは現在4番刈の収穫が終了し、圃場によっては5番刈の収穫が開始されています。産地では夏季に入り連日40℃を超える気温のため、成分値が減少し茎が細く、過乾燥気味なサマーハイ中心の発生となっています。中東や中国といった輸出向けには最上級品の買付が行われていますが、上級品以下の引き合いは需要が低調なことから、産地相場は軟調に推移しています。

インペリアルバレー灌漑局の発表によると、6月15日時点でのアルファルファの作付面積は151,915エーカー（前年同期は133,831エーカー）と前年同期比114%と増加しています。

米国産チモシー

主産地であるワシントン州コロンビアベースン及びエレンズバーグでは5月下旬から23年産1番刈の収穫作業を開始し現在、終盤戦を迎えています。コロンビアベースンでは収穫期に降雨が複数回発生したことから上級品の発生が少なく、中～低級品の発生が多くなっています。

産地の多くの輸出業者は22年産の旧穀在庫を抱えていることもあり、23年産の産地相場は未だ形成されていませんが、価格の軟化が期待されています。生産農家も産地相場の軟化を見込んでおり、豆類やとうもろこしといった換金作物に転作している圃場も多く、2番刈の生産量は大幅に減少すると見込まれています。

スーダングラス

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、6月上旬より23年産の収穫が本格化しています。日本向けの出荷が減少し、産地の多くの輸出業者は22年産の旧穀在庫を抱えていることもあり、例年より遅い買付進捗になる見込みです。

灌漑局の発表によると、7月1日時点での作付面積は23,540エーカー（前年同期は48,033エーカー）、前年同時期比49%となっており、作付けが開始されてから減少が続いています。しかしながら、日本向けの需要に対しては旧穀在庫も十分にあるため供給力に懸念はなく、作付面積減少により産地相場が上昇することも考えにくい状況です。



23年産スーダングラス（6月下旬撮影）

クレイングラス（クレインは全酪連の登録商標です）

主産地であるカリフォルニア州南部インペリアルバレーでは、2番刈の収穫は終盤を迎えており、圃場によっては3番刈の収穫が開始されています。ミード湖の水位上

昇による水不足の解消、干ばつも緩和されているため米国内の酪農家からの引き合いも軟化し、産地価格は軟調に推移しています。

インペリアルバレー灌漑局の発表によると、6月15日時点でのクレイングラスの作付面積は22,190エーカー（前年同期19,122エーカー）となっており、前年同時期比116%と増加しています。

バミューダ

主産地であるカリフォルニア州インペリアルバレーでは2番刈の収穫作業が行われており、一部の圃場では3番刈の収穫が開始されています。7月中旬よりバミューダの種子の収穫が開始され、同時に副産物のストローの収穫も始まる見込みです。インペリアルバレー灌漑局の発表によると、6月15日時点の作付面積は65,066エーカー（前年同期62,132エーカー）と前年同期比105%の作付面積となっています。

ストロー類（フェスキュー・ライグラス）

主産地であるオレゴン州ウィラメットバレーでは、6月下旬より23年産の播種作業が始まりました。7月中旬から収穫が開始される見込みです。

カナダ産チモシー

主産地であるアルバータ州中部クレモナ地区では、期待されていた降雨も6月中旬まで降らず、例年よりも乾燥した状況が続いています。このため1番刈の生育も進まず収穫が遅れる見込みです。また、山火事の影響で煙による日照不足や乾燥に時間がかかることから上級品の発生が少なくなることも危惧されています。

同州南部レスブリッジ地区では昨年より2～3週間早く23年産1番刈の収穫が始まっています。温暖な気候もあり、収穫時期の降雨も少なければ上級品の発生が期待できます。

豪州産オーツハイ

23年産の作付作業は終了しています。作況については6月に生産地全域でまとまった降雨に恵まれたこともあり順調に生育は進んでいます。7月以降は乾燥が強まる予報となっており、降雨不足が心配されています。

以上